

「伊都国」と呼ばれ、王がおさめた国であったと「魏志倭人伝」に記されています。大陸との交流も盛んで大國として家えていました。

国内では最大の大きさの内行花文鏡の出土や様々なはんえいを現在でも見ることが出来ます。そんな伊都国をいっしょに旅して行きます。

ねえ、お父さん
国宝になつた
大鏡つてネ
どの位、
昔のものなの？

倭人傳
倭國漢時方東南大海之
倭國漢時方東南大海之
倭國漢時方東南大海之

倭人傳
倭國漢時方東南大海之
倭國漢時方東南大海之
倭國漢時方東南大海之

ねえ、お父さん
国宝になつた
大鏡つてネ
どの位、
昔のものなの？

伊都国の歴史なら
伊都国歴史博物館だ
伊都国歴史博物館だ

伊都国の歴史なら
伊都国歴史博物館だ
伊都国歴史博物館だ

ねえ、お父さん
国宝になつた
大鏡つてネ
どの位、
昔のものなの？

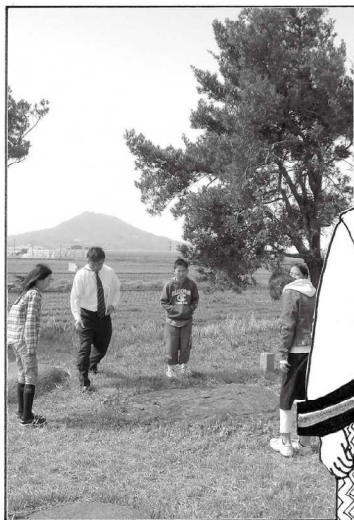
伊都国歴史博物館には
伊都国の歴史がくわしく展示されているのよ。



弥生では、大陸との交流が盛んで稲作のほかにもいろいろな文化が持ち込まれてきたんだね。



大陸から渡ってきた人びとは現在の加布里や志登のあたりに上陸して、いろいろな文化を伝えたんだ。糸島の海は世界へつながっていたんだね。

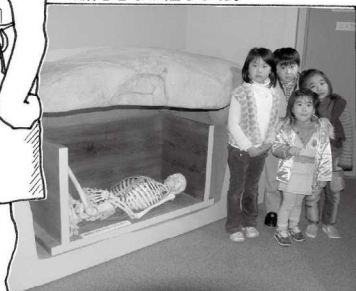


志登ドルメン(支石墓)
渡来人が伝えた新しい文化のひとつです。今のお墓とは形も違いますね。



この時代の船はこんな形だったんだね。
今、東風小学校がたっている所からこの船の一部が出土したんだよ。そして、こんな船だったことがわかったんだ。

渡来人と弥生人の服装や体形はこんなに違うんだよ。少し渡来人が身長が高くても感じが違うよね。



新町ドルメンの中はこんなになってるんだよ。
(志摩町歴史資料館)



弥生時代

弥生時代になると米づくりがはじまり、農耕具も伝わってきたんだね。今でも使われている道具と変わらないものもあるし、弥生の文化は進んでいたんだね。上鍾子遺跡からは沢山の生活の道具が出土しているよ。



この時代は約六百年続いた時代で、お米などを作ったり貯えたりするようになって生活が豊かになっていったんだね。大陸からは米作りが伝わり盛んに行われるようになったんだ。

さあ、次は弥生時代へタイムスリップだよ！



石包丁 こんな風に稲の穂先を刈り取ったんだよ。



弥生土器(石崎曲り田遺跡出土)
弥生時代の土器は縄文土器に比べてみるとシンプルでいろいろな用途に合わせて作られた機能的なものに変わったんだ。



米を貯える食物倉庫として高床倉庫が作られていたんだよ。ネズミ返しもちゃんとつくられていたり、するんだよ。ひとびとの服装は貫頭衣(かんづかい)といって麻布の首の部分だけくり抜いて簡単に覆いかぶっていただけのものだったよ。